

令和5年度 第4回 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村
地域公共交通活性化協議会 議事概要

日時：令和5年11月16日（木）午後2時～午後4時
会場：河南町保健福祉センター「かなんぴあ」2階 大会議室

●出席委員 28名

猪井委員、中村委員、内田委員、鬼追委員、伊東委員、高平委員（亀井氏が代理出席）、西田委員、湯口委員、金谷委員、岡崎委員、古川委員、伊藤委員、川邊委員、井関委員、池田委員、野谷委員、白江委員、藤田委員、松崎委員、芝辻委員、市村委員、田内委員、嶋田委員、才門委員、松田委員、齋藤委員、渡邊委員、稲山委員

●欠席委員 0名

●公開・非公開の別 公開

●傍聴人数 69名

●会議次第及び議事要旨

案件

- (1) 金剛自動車株式会社のバス事業の廃止に伴う新たな公共交通の協議について
事務局より資料2、参考資料3、4に基づき説明し、了承された。
- (2) 金剛自動車株式会社のバス事業の廃止の協議について
事務局より資料3に基づき説明し、了承された。
金剛自動車株式会社の白江委員から発言があった。
発言内容は議事概要のとおり。
- (3) 令和5年度予算の補正について
事務局より資料4に基づき説明し、了承された。
- (4) 各市町村における単独協議会での協議事項の報告について
事務局より参考資料1、2に基づき説明し、了承された。
- (5) その他
事務局より会議の開催日時について説明した。
第5回 未定
4市町村長から発言があった。
発言内容は議事概要のとおり。

●資料

資料1 委員名簿

資料2 金剛自動車株式会社のバス事業の廃止に伴う新たな公共交通の協議について

資料3 金剛自動車株式会社のバス事業の廃止の協議について

資料4 令和5年度 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会 補正予算（案）

- 参考資料 1 太子町における 5 路線以外の代替交通の検討状況について
参考資料 2 千早赤阪村における新たな公共交通計画について
参考資料 3 新たな公共交通路線図
参考資料 4 金剛バス廃止に伴う 15 路線の代替交通一覧表

●議事概要

案件

(2) 金剛自動車株式会社のバス事業の廃止の協議について

白江委員 各関係者の皆様にはお礼を申し上げます。
金剛バスの運行は残り 1 ヶ月弱であるが、従業員一丸となって、安全運行に努めていきたい。

(5) その他

吉村市長 本年 9 月 8 日に金剛自動車株式会社から、令和 5 年 12 月 20 日をもってバス事業を廃止する旨の通知を受けたときは、非常に残念であった。金剛バスが 100 年近く、地域住民の日常生活に欠かせない移動手段となっており、地域の暮らしや魅力をつなぐ大切な役割を担ってきていただいたことに心から敬意を表したい。この通知を受け、緊急事態ということで、早急にその代替交通を確保すべく、4 市町村が連携協力をしながら議論できるよう、地域公共交通活性化協議会を設置させていただいた。本日までの間、委員の皆様には、非常にタイトな日程で、慎重に審議し、運行計画案をまとめていただき、感謝を申し上げます。今回の運行計画に基づいて、12 月 21 日から新たな公共交通を運行することになるが、利用状況や利用者の声、そして沿道の地域の方々の声なども踏まえながら、本当に沿線の住民の皆様にとって持続可能な公共交通となるように取り組んでいかなければならないと思っている。また、国や、大阪府そして関係機関に対しての財政支援をはじめ、あらゆる支援を要望していきたいと考えている。皆様には今後とも、大変苦勞をおかけすることになると思うが、引き続き、ご理解ご協力のほどよろしく願いするとともに、市町村が広域的に連携し、可能な限り、路線維持できるよう努めていきたい。

田中町長 12 月 21 日以降の住民の足の確保に向けて、各方面の皆様には本当にご尽力をいただき、感謝を申し上げます。また、委員の皆様においても、タイトなスケジュールの中、精力的に議論いただき、感謝を申し上げます。何とか一定程度の目途がついたと思う。ただ、本町としても、緊急事態ということで、当初予定していなかった出費が伴うということである。本日は予算の審議をしていただいたが、そういった予算についても当然町が関わっていかなければならないということである。運行主体が町で、契約も町が主体となっていくということ、一定程度、その関与が明確になっているところであるが、今回広域で事業を進めるにあたって、なかなか明確になっていない部分もある。そ

うといった意味で、今後4市町村長がしっかりと関わりながら、事業を進めていかなければならないと思っている。また、今回本当にすばらしい案を出していただいたが、運行する中において、いろんな問題点も出てくると思う。引き続き、様々な改正改革を加えながら、この公共交通を仕上げていかなければならないと思うので、今後も皆様のご協力をお願いしたい。そして、持続可能な公共交通になることを願っており、そのためには規約の改正などもあるかもしれないが、そういった関連についても皆様の今後のご協力をお願いする。

森田町長 金剛バスの廃止ということで、急遽4市町村で協議会を立ち上げ、議論をいただき、一定の結果を出させていただいた。協議会の委員の皆様には、本当に短い時間であったが、ご協力いただき、感謝申し上げます。このような形で一定確保できたわけではあるが、本町にとって、公共交通はバスが主である。その主なものがこのような形になり、本当に重要な課題であると考えている。財政運営していく上でも、このバスの問題が非常に大きなウェイトを占めるため、国、大阪府、様々な支援をいただかなければ、なかなか事業継続が難しいと思うので、その点、含めてよろしくをお願いしたい。このような形で、市町村長が協議会に関わるということに、ある程度我々も責任を持って、この協議会を運営し、バスの運行に努めていかなければならないと考える。12月21日から一定の交通確保ができたが、今後も改善に努めていきたいと思うので、皆様方にはご協力をお願い申し上げます。最後になるが、このような形でまとめていただいた委員、関係者の皆様に対して、厚くお礼を申し上げます。

南本村長 まずは、会長、副会長及び委員の皆様には、公私何かとご多忙のところ、この短期間で新たな公共交通についてご検討いただき、心から感謝している。路線バスは、地域の皆様にとって、通勤通学、さらには通院など、日常生活に欠かすことのできない移動手段である。本村としては、本協議会の運行内容に基づき、取り急ぎの形で、とにかく12月21日から新たな公共交通サービスを提供できるよう取り組む。限られた時間の中で、そして限られた財政状況の中で、今は最大のピンチではあるが、千早赤阪村に適した交通ネットワークを構築するよい機会と前向きにとらえて、前進あるのみと覚悟をしている。将来にわたり持続可能な千早赤阪村にするためにも、公共交通は必要であり、そのためには、地域の皆様のご理解、ご協力のもと、4市町村が連携して、公共交通の維持確保に取り組むことが重要である。引き続き委員の皆様のご力を添えをよろしくお願いしたい。

松田会長 今後、事業が実施段階に入っていく中で、市町村長の皆様の役割は、非常に重要になってくると思うので、何卒よろしく申し上げます。

以上